

国道19号藪原地区 防災対策としてバイパス(案)に決定 ～ 国道19号木曾地域勉強会 検討結果 ～

1. 背景

国道19号木曾地域(岐阜・長野県境～長野県塩尻市高出)は、事前通行規制や災害による通行止め等の交通課題が多く、その課題の解消に向けた検討が必要となっています。

2. 概要

飯田国道事務所では、事前通行規制等の課題のある国道19号について、有識者による勉強会を開催し、現状の課題及び藪原地区の対策手法について議論しましたので、お知らせ致します。



3. 資料配付先

長野県会見場、飯田市役所記者クラブ、木曾合同庁舎記者室、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所

副所長 ふたむら たかゆき 二村 隆之

計画課長 おかもと ゆうじ 岡本 由仁

TEL:0265-53-7200 FAX:0265-53-7210

国道19号 木曽地域勉強会（概要）

平成29年3月16日 国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所

事前通行規制や災害による通行止め等、交通課題の多い国道19号藪原地区（木祖村）について、課題の解消に向けた対策のあり方を議論しました。議論の結果、主な結論として、以下のとおり、とりまとめました。

- 国道19号の西側には、木曽川、JR中央本線が存するため、国道19号の東側のバイパス整備により、防災課題箇所を回避することが望ましい
- 今後、地表地質踏査・空中写真判読等により、断層や深層崩壊等、現地の地形・地質学及び地盤工学的リスクを適切に把握しつつ、進めていくことが必要

災害の発生状況

降雨による通行規制のほか、雪崩、土砂流出等の災害による通行止めが多発

【写真1】雪崩 (H26.2.15)



【写真2】土砂流出 (H11.6.27)

